

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

取組内容	実践事例の概要	様式
①	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」 ・児童が使用するワークシートをクラウド上で共有して、進捗状況等常に確認できるよう工夫	B-1
①	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用」 ・共同編集やアンケート機能を活用し、互いの気づきから学びを深める工夫	B-2
①	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用」 ・クラウド上で作文を共有することで、複数人で同時に推敲	B-3
②	「クラウド上に動画教材（オリジナル作成・既存の活用）を事前共有」 ・実験動画や見本動画を事前共有することで、授業を効率化	B-4
③	「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」 ・発達段階に合わせた家庭学習に取り組むことで、日常的な持ち帰りを実現	B-5
③	「端末の日常的な持ち帰りから反転学習へ」 ・自分のペースで事前課題に取り組むことで、授業中の主体的な学びが充実	B-6
④	「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」 ・クラウド上で資料を共有したり、オンライン会議を取り入れることで、校務の効率化を実現	B-7
④	「校務の徹底的な効率化に向けた家庭配布資料のペーパーレス」 ・学校だよりやアンケート調査等、デジタル化して働き方改革	B-8
⑤	「9年間を見通した情報活用能力の育成」 ・目標を明確にし、計画的に中学校進学へ	B-9
⑤	「クラウドを活用した小小連携・小中連携」 ・資料の共有やチャットの活用で、学校の枠を超えた意見交流を実現	B-10

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

児童が使用するワークシートをクラウド上で共有して、進捗状況等を常に確認できるよう工夫



投稿欄に写真を共有し、個々の発見を共有

Teams上に個々の発見を投稿することで、協働的な学びを進めています。例えば4年「垂直・平行と四角形」の学習では、校内探検で見つけた形を写真に撮って共有することで、既習の図形の定義を振り返ることができました。

1組の向かい合う辺が平行だから台形といえるね。



板書を共有することで、個々の学びを保障

各教科の最終板書は写真に撮って日常的に投稿しています。欠席児童だけでなく、ノートにまとめることに時間がかかる児童も、自分のペースで学習を振り返ることができます。



今日は裁判所について学習したんだね。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

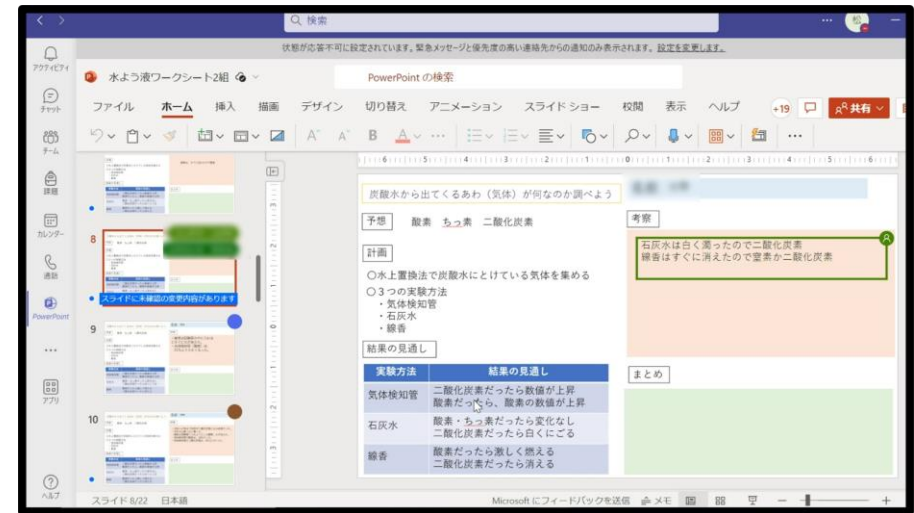
大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用

共同編集やアンケート機能を活用し、互いの気づきから学びを深める工夫

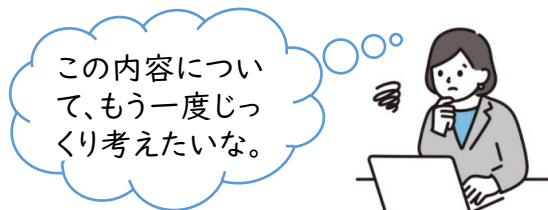
Teams上のワークシートで解決方法を常に共有

PowerPointで作成したワークシートをTeams上で共有し、児童は自分の出席番号のスライドを自身のワークシートとして活用します。共同編集機能により互いの解決方法を常に見ることができます。



Formsで学習を振り返り、自己調整へ

本時の視点をもとに理解度を図ったり、事前に話合って決めた目標に対して自己評価をしたりします。結果は共有され、データとして蓄積されるので、自己調整の習慣化につながるよう期待しています。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用

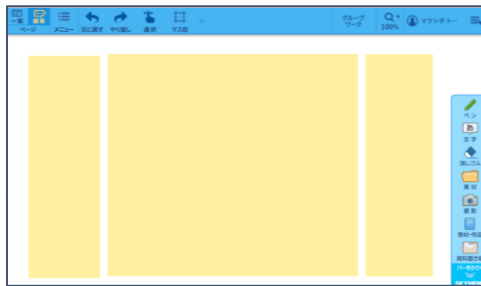
クラウド上で作文を共有することで、複数人で同時に推敲

3年 国語「話したいな、わたしのすきな時間」



事前準備として

SKYMENU Cloudの
発表ノートに「はじめ」
「中」「終わり」を記入
するための付箋（縦書き）
を添付



児童の反応



話の中心が伝わる文章になるように、もらった
アドバイスをもとに、書き直すことができたよ。

発表に向けて・・・

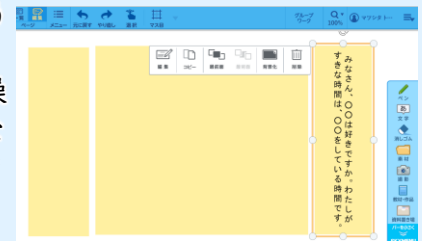
書き直した文章は、相手に伝わるように、話し方を工夫して録音し、繰り返し練習します。班の友だちにアドバイス等をもって文章を推敲したため、自信をもって発表することができました。



内容のまとまりを意識しながら、文章の構成を推敲

1 入力方法の見本をいつでも確認

冒頭部分の「はじめ」には、どのような内容の文章を書けばよいか、児童と一緒に考えながら、具体的な操作方法と一緒に伝えます。参考になる文章をワークシートと一緒に配付することで、いつでも参照しながら進められるようにします。



2 他者参照で協働的な学びへ

ノートに書き出した内容を基に、話の中心が伝わるように文章を構成し、クラウド上に提出します。他者参照ができるため、自分の文章を推敲するとともに、友だちの文章へのアドバイスを考えます。



3 リアルタイムに文章を推敲

個々の発表ノートを順番に読み合いながら改善点について伝え合いました。作成者は友だちからのアドバイスを基にリアルタイムに打ち直すことで、細かいところも確認しながら修正することができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容②】クラウド上の動画教材（オリジナル作成・既存の活用）を事前共有

実験動画や見本動画を事前共有することで、授業を効率化

実験動画は事前共有で授業を効率化

実験の手順や注意事項など、動画教材として事前に視聴するようにしています。自分のペースに合わせて、繰り返し視聴できるため、手順を理解したうえで授業に臨むことができます。



今のところが
ポイントだね。
もう一度見てみよう。



事前視聴で学習の見通しを明確に

算数科の学習では、本時の導入から見通しまでを動画にし、事前にTeams上にアップロードしています。児童は本時のめあてや問題を把握して授業に臨むため、復習問題や応用問題といった、学習の定着を図る時間をより多く確保することができます。

わかるまで何度
も見直すことが
できるよ。



割る数は5？ 6？

$$(7+4+7+3+6) \div 5 = 5.4$$

答え 5.4個

$$(7+4+0+7+3+6) \div 6 = 4.5$$

答え 4.5個

この0の意味は何だろう？

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

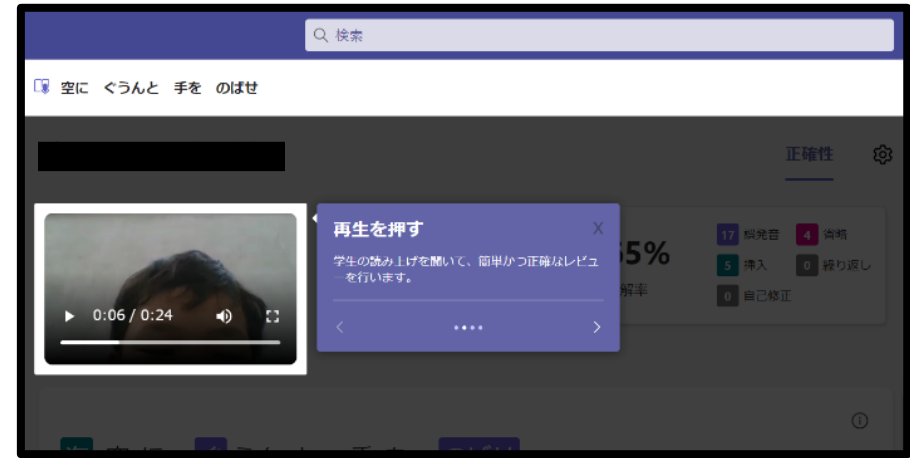
発達段階に合わせた家庭学習に取り組むことで、日常的な持ち帰りを実現



「Reading Coach」機能を活用した音読課題

これまで日常的に取り組んできた音読課題を、Teamsの「Reading Coach」機能を活用して取り組むようにしました。自分が納得いくまで繰り返し録音でき、すぐにフィードバックされるので、改善の視点を明確に持つことがことができます。

読む速さに気をつけて、もう一度読んでみよう！



各学年、夏休みの課題で端末活用

クラウド上に課題を提出することで、児童の進捗状況をリアルタイムで確認することができます。例えば、アサガオの観察や調理実習、部屋の清掃や日記、デジタルドリルなど、各学年、夏休みの課題を工夫していました。

いいことに気づいているね。新学期に紹介しよう。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りから反転学習へ

自分のペースで事前課題に取り組むことで、授業中の主体的な学びが充実

5年 算数「ならした大きさを表そう」

T クラウド上で教材を共有し、家庭学習でも個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現

～事前準備と家庭学習～

- ① ヒント動画をTeamsで共有
- ② Teams上のPowerPointでワークシートを作成（学級の人数分、スライドをコピー）
- ③ 児童は、自分の出席番号のスライドを使用
- ④ 家庭学習として、ヒント動画も適宜活用しながら自分の解決方法を記入
- ⑤ 互いの解決方法を適宜参照し、自分の考えを深める

児童の反応

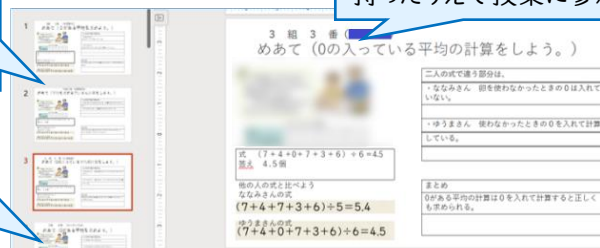


測定値に0があるときは、どうすればいいのかな？
これまでの計算の仕方だと、0は省略するけど・・・
みんなの考えを見てみよう。

共同編集機能を活用し、いつでも他者参照

★ クラス全員の
解決方法を
参照可能

★ 加筆・修正も
リアルタイムに
共有



自分なりの解決方法を
持ったうえで授業に参加

T 事前課題による反転学習の授業では・・・

1 ヒント動画で課題を把握

家庭学習では、クラウド上のヒント動画も参考にできるので、一斉授業では不安を感じる児童も、繰り返し見たり、途中で止めながら見たりして自分のペースで学習することができます。



2 見通しをもって授業に参加

家庭学習として自分なりの解決方法を書き込み、授業に参加します。簡単にみんなの考えを見ることができるため、自分で考えを持ちにくい児童も、他の児童の解決方法を参考にすることができます。



3 他者参照で対話的な学びへ

他者参照をすることで自分には無かった考え方を知ったり、気づいたりすることができます。自然と対話も生まれ、新たな問題を見出すなど、より深い学びにつながります。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

クラウド上で資料を共有したり、オンライン会議を取り入れることで、校務の効率化を実現



職員会議の案件をTeamsで共有

企画会終了後、職員会議の案件をTeams上にアップロードします。期日までに全教職員がチェックし、意見等を書き込むことで、職員会議の時間を短縮しました。

Teamsに案件があるので、いつでも確認できて便利。



日	校務行事	会議等	PTA・地域・その他
木	住中職員休職	安全点検 学研	
木	住中職員休職	住中職員休職	見守り隊連絡会17時～
金	文化の日		
土			
日			
月			
火			
水	いしいる児童内オリエンテーション5h	入教教育委員会・学校運営部・研究部 会(中間評価に向けて)	住吉幼稚園講堂使用午前中
木	ラ	ラ	
金	祝日		
土	祝日		
日	祝日		

指導案検討会や研究討議会の効率化

Jamboardを活用し、指導案検討会や研究討議会までに意見等を書き込むことで、議論の時間を多く確保することができました。

授業者が事前に質問などを把握して討議会等に参加できるので、論点をより深めることにもつながります。

この意見について詳しく聞きたいな。



10月12日3限 5年生研究授業 研究討議

2/5

背景を設定 フレームを消去

(2) 議 案

学習活動

1. バスのこみであいあ「こんでいる」イメージをつかむ。
「こんでいる」ってどういう事だろう。
2. 本時のめあてに気づく。
・A・目どりのシートがこんでいるか比べる。
3. Aと目のこみであいあを考えると、め Aと目のシートの比べ方を考えよう

・指導上の留意点 ○評価

- ・観察活動で乗るバスの場面を設定し乗りたいバスを考え「こんでいる」のイメージをまとめる。
- ・図からわかることを確かめる。
- ・同じ数量を基準として、もう一方の量で比べることをおさえて、本時の学習につなげる。
- ・タブレットを使って考えをまとめる。数値だけでなく図や数直線などを用いて考えもよい。
- ・一人ずつじっくり考えたり友だちと一緒に考えたりして学習の仕方を選択して自分の考えを導けるようにする。
- ・考えにあたって大事な事項の「着目ポイント」を記述するようにする。
- ・早くできた児童には新たな問題作りをして共通した考えを着目ポイントとして記述させる。

シートの上に書く意見は、黒板に貼る。黒板に貼る意見は、黒板に貼る。黒板に貼る意見は、黒板に貼る。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化に向けた家庭配布資料のペーパーレス」

学校だよりやアンケート調査等、デジタル化して働き方改革

欠席等連絡アプリの活用

学校⇄保護者がいつでも情報共有

- 欠席・遅刻連絡だけでなく、保護者からの連絡事項も入力可能
- プール水泳時の健康観察等の連絡
- 学校からのプリント送付
- アンケート調査、休業時の健康観察等

保護者の反応



欠席連絡が即時にできて便利♪
いつでも学校からの連絡が見れて安心♪

学校ホームページにも
学年だより等を掲載

学校からの配布物をいつでも、どこでも確認できるよう、学校ホームページに学年だよりを掲載しています。学年毎にパスワードをかけることで、安心・安全な運用を心がけています。

保護者配布プリント

- 令和6年度大阪府立中学校入学選抜にかかるお知らせ
- 6年学年だより 12月号
- 5年学年だより 12月号
- 4年学年だより 12月号
- 3年学年だより 12月号
- 2年学年だより 12月号
- 1年学年だより 12月号
- 就学援助申請書締切(最終)
- 令和5年度就学援助費支給お知らせ(早期2)
- お知らせ
- 学校園における教員の働き方改革について
- 就学援助申請書締切案内
- 5類感染症への移行後の学校園における新型コロナウィル
- 児童用タブレット端末持ち帰りについて
- 電話対応についてお願い

欠席等連絡アプリを活用して校務を効率化

保護者からの連絡も効率化

毎日の欠席・遅刻の連絡以外にも、「今日の体育見学します。」「昨日、お腹を痛がっていたので、様子をみてください」などの連絡もアプリで学校に届くので、確認、共有が簡単になりました。

					2024
15分ほど遅れて登校します。よろしくお願ひします。					
塚坊	-	母			2024
気(理由...	発熱(体温...	父	発熱のため...		2024

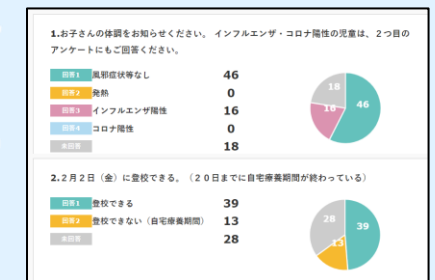
プールカード撤廃。入水確認はアプリで

今まで健康観察カードで行っていた、プール水泳時の入水確認や見学の連絡もアプリで行っています。「カードを忘れたためプールに入れない」といった状況がなくなりました。

母	プール見学	2023/07/13 ...
母	プール見学	2023/07/13 ...
母	体温36.6...	2023/07/13 ...

学校からののお知らせやアンケート調査も

学校からののお知らせや保護者アンケート、休業時の児童の健康観察など、保護者への連絡は一括で管理。アンケートの回収率アップや集計の効率化、教員の業務のスリム化につながっています。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容⑤】 9年間を見通した情報活用能力の育成

情報活用能力

目標を明確にし、計画的に中学校進学へ

中学校での活動が円滑に進むように、校下小学校2校の情報活用能力が同程度となるようにしました。具体的に、次の5つを小学校卒業までの達成目標としました。

- ★1 十分な速さで正確な文字の入力
- ★2 クラウドを用いた協働作業
- ★3 複数の表現手段を組み合わせた表現方法
- ★4 効果的なプレゼンテーション方法
- ★5 通信ネットワーク上のルールやマナー

文部科学省【情報活用能力の体系表】（令和元年度版）全体版より抜粋

中学校

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

2年生

3年生

小1：4月「端末開き」

6年生が1年生に端末を使うときの注意点や操作方法を伝えます。



全校「キーボード入力検定」

目標は、小学校卒業までに、1分間に50文字！入力できた文字数に合わせて昇級も。



全校「学習発表会」

SDGsや平和学習など、調べたことをスライドにまとめ、全校児童に発表しました。



中2「職場体験報告会」

職場体験を通して感じたことや考えたことを、スライドにまとめて発表しました。



学校行事

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容⑤】クラウドを活用した小小連携・小中連携

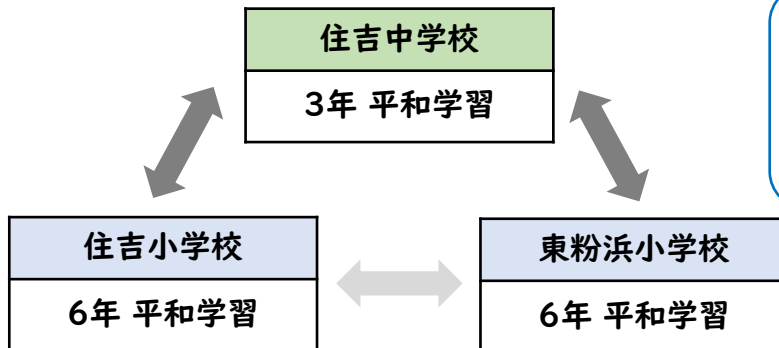
資料の共有やチャットの活用で、学校の枠を超えた意見交流を実現

クラウドやオンライン会議を活用した2校間の交流（小小連携）

住吉小学校	東粉浜小学校
4年 社会「住吉区ハザードマップ」	4年 社会「災害新聞を作ろう」
6年 平和学習「ヒロシマが伝えるもの」	6年 国語「ヒロシマのうた」

⇒他校の様子を知ることにより、お互いの学校の学習活動を充実させる

投稿欄を活用した意見交流（小中連携）



児童の反応

修学旅行前に中学生のアドバイスを聞いていたおかげで、注意深く見学や観察ができたよ。教えてもらえて嬉しかった。



- ・ 投稿欄を活用し、中学生からアドバイスをもらうことで、小学生は現地での学習が充実したものに
- ・ 小学生にアドバイスすることで、中学生は個々の学びを振り返り、発展的な学びへ
- ・ 投稿体験を通して情報モラルを意識

